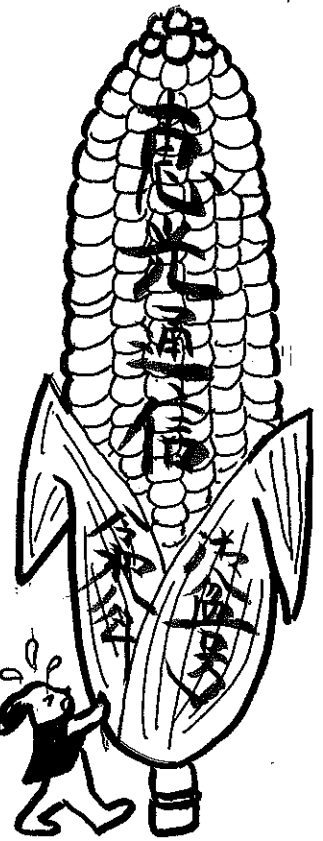




令和八年三月十五日、愛大エコウ（ロングコートチワワ、十五年八カ月）が雲山浄土へ旅立ちました。自力で歩くことが出来なくなり、エサも食べなくなり、一週間後七くなりました。愛大の死に際を目の当たりにするたびに自分の死に際について考えさせられます。

先日長野県が発祥の言葉P.P.K.つまり、「ピンピンコロリ」を耳にする機会がありました。寝たきりにならず元気に長生きして、病氣などで苦しまず天寿を全うして安らかに七くなることを意味します。そのような最期を迎えることが出来れば本望です。住職に「ピンピンコロリ」の一生を送ることが出来るようにピンピンコロリ御祈願法要をしてほしいと直談判しました。皆様にもいつかこの法要のご案内が出来るかもしれません。運動、バランスのとれた食事、体を整え、仏さまやご先祖様に手を合わせ心を穏やかにして、健康な毎日を過ごしていきたいものですね。



3文字クロスワード

空欄になっている□のなかにひらがなをひとつ入れて、たてに読んでも、よこに読んでも意味が通じる言葉を完成させてください。

① は □ ぎ
う □ み

② き □ ぐ
え □ こ

③ で □ き
ぺ □ わ

④ す □ が
え □ か

⑤ さ □ げ
く □ た

⑥ め □ り
い □ ん

⑦ と □ い
き □ ふ

⑧ た □ と
と □ こ

⑨ ね □ ぼ
と □ ど

⑩ う □ ん
れ □ う

昨年、あるお檀家様が「あじさいの挿木をしたので、境内のどこかに植えて下さい」と鉢を下さいました。一年間はそのままにし、今年の梅雨時期に竹林のふちに植え替えました。いびいていましたが、無事根もついたよう。で来々、開花してほしいと願っています。

陽だまり法話

「ミヨウガ」は、年中食べられる通年野菜のひとつで、薬味や刺身のツマで食べることが多い香辛野菜。旬の時期を「存じ」でしょうか？露地物の最盛期は六〜十月頃で、夏バテ解消の効果があるそうです。

《「ミヨウガを食べると、物忘れがひどくなる」ということも耳にしますが、これは、お釈迦さまの弟子である周利槃特（しゆりはんどく）の話から生まれたという俗説があります。彼は「最も愚かな弟子」といわれ、ひとつの事しか考えられず、短い経文や自分の名前ですら覚えることが出来ませんでした。そのような彼でしたから、教団から追い出されそうになります。うなだれていた彼にお釈迦様が優しくお声をかけられました。そして、一本のほうきと『塵を払わん。垢を除かん』という言葉を授けられます。彼は来る日も来る日も、この言葉を唱えながら掃除を続けました。何十年も続けたある日、周利槃特は、『塵やホコリは、あ
ると思つてゐるところだけでなく、意外なところにあるのだなあ。自分が本当に払うべき塵や垢とは何だろ
う。そうか。自分の心にびりついた塵や垢だ。』とお釈迦様の教えの真の意義がわかるようになりました。
智者でも愚者でも誠心をもつて教えを求め続ければ、皆悟ることができ、仏に成れることが説かれていま
す。周利槃特が亡くなった後、お墓から見たこともない植物が芽を出しました。彼が名札をつけていたので、
自分の名を荷つ、ここから《名荷↓茗荷》と名付けられたそうです。

妙法蓮華經五百弟子受記品第八 「其五百阿羅漢 優樓頻螺迦葉・伽耶迦葉・那提迦葉・迦留陀夷・優陀夷・阿泥樓駄・離婆多・劫賓那・薄拘羅・周陀・莎伽陀等 皆立得阿耨多羅三藐三菩提 尽同一号 名曰普明」その五百の阿羅漢
りはた ごうひんな はくら しゆだ しやかだとう かいとうとくあのかたさんみやくほだい じんどういちごう みようわつふみよう
うるびんらかしやう がやかしやう なだいかしやう かるだい うだい あぬるだ
優樓頻螺迦葉・伽耶迦葉・那提迦葉・迦留陀夷・優陀夷・阿泥樓駄・離婆多・劫賓那・薄拘羅・周陀・莎伽陀等、皆、ま
さに阿耨多羅三藐三菩提を得べし。ごうとくと同じく一号にして、名つけて普明
といわん。

アニメ 天才バカボンに登場する「レレレのおじさん」は周利槃特がモデルだとか・・・



参加者募集 毎月一回、十時半より写経、十二時半より法華経講話
十三時半よりお題目転読、十四時半より法座（十五時頃終了）を行つて
います。ご興味があるものだけの参加OK。開催日は正福寺のホーム
ページをご覧ください。